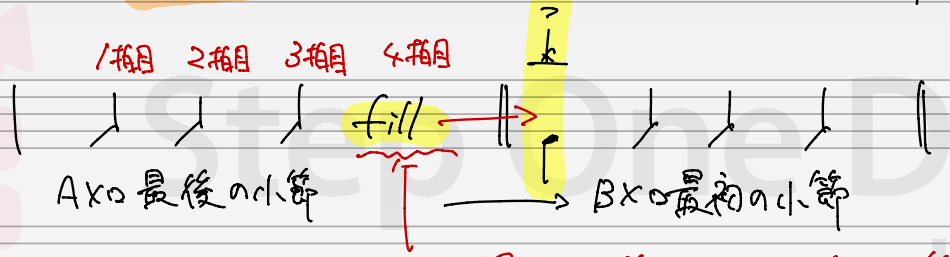
ドラムフィル,キメについて

Step One DTM School
Jiyugaoka Tokyo
Step One DTM

ドラムフィルの考え方

☆ドラムフィルの入る場所

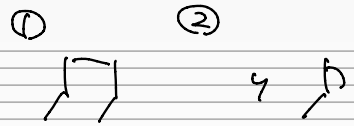
A×n → B×n　　B×n → サビ等曲構成に移り変わる箇所



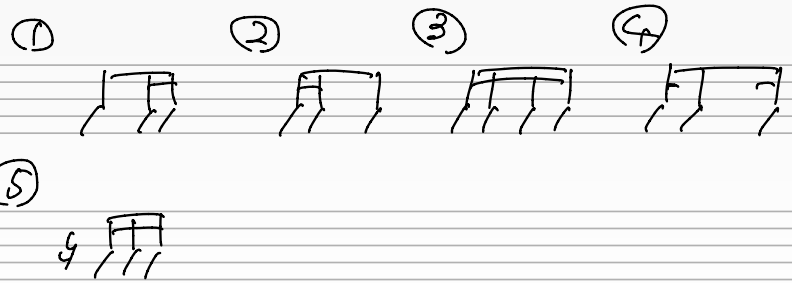
4拍目に1拍フィル / 次の小節1拍にCrash Cymbal + kick

☆ドラムフィルのパターン

→ 1拍フィル 8分音符の場合

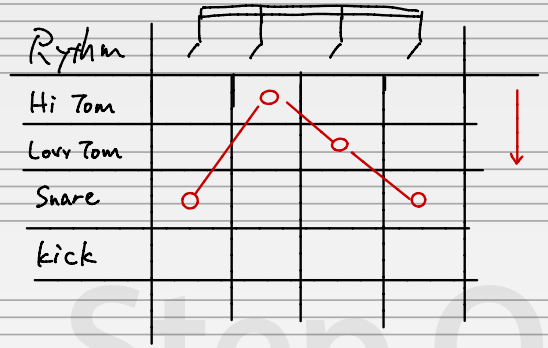


1拍フィル 16分音符の場合



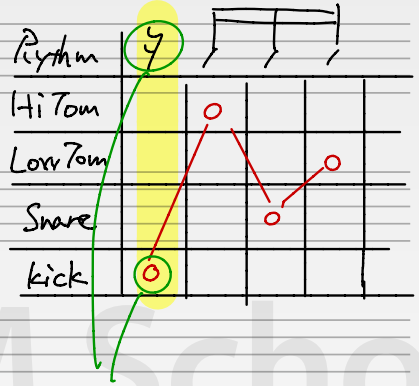
Step One DTM School
Shiyagashira Tokyo

・ドラムフィルパターンの各楽器への振り分け方



タムは必ず
Hi → Low

※ Low Tom → Hi Tom と演奏されない



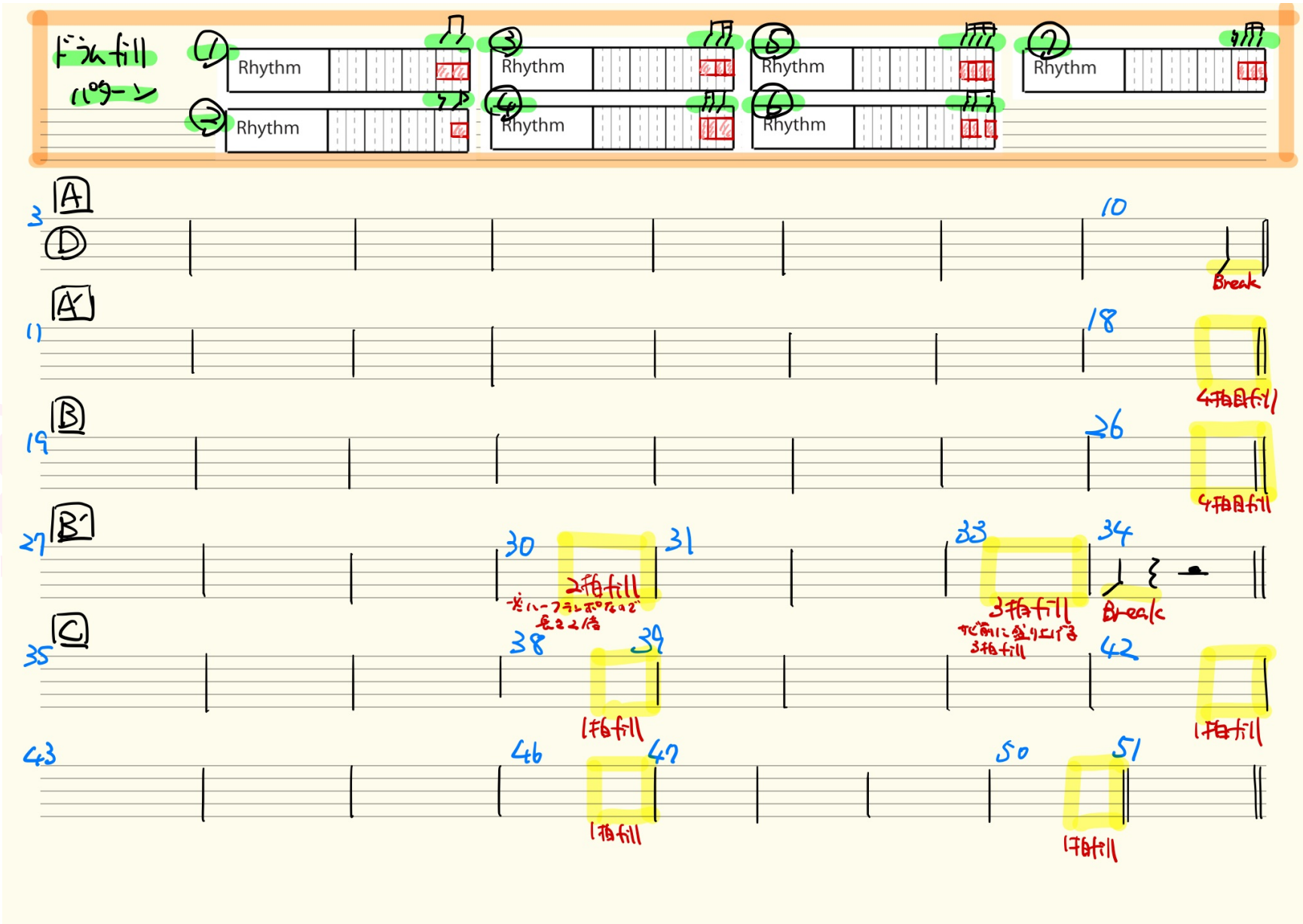
休符はドラムにとって
kickを演奏するという
意味

☆ ドラムフィルで使用される楽器組み合わせ表

	kick	Snare	Tom	Hat	Crash Cymbal
kick		×	×	○	○
Snare	×		○	○	○
Tom	×	○		×	×
Hat	○	○	×		×
Crash Cymbal	○	○	×	×	

- kickは他のタイコ系楽器と一緒に演奏されない
- HatとTomは一緒に演奏されない
- CrashCymは必ずkickかSnareと組み合わせる

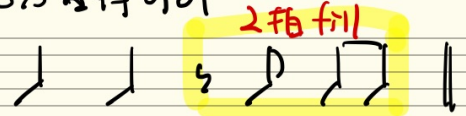
Step One DTM School
Jiyugaoka Tokyo
Step One DTM


ドラムfill
パターン
Rhythm
Rhythm
Rhythm
Rhythm
Rhythm
Rhythm
A
D
3
10
Break
A'
1
18
4拍目fill
B
19
26
4拍目fill
B'
27
30
31
2拍fill
※ハーフテンポなので
長さ2倍
33
34
3拍fill
少し前に盛り上げる
3拍fill
Break
C
35
38
39
1拍fill
42
1拍fill
43
46
47
1拍fill
50
51
1拍fill

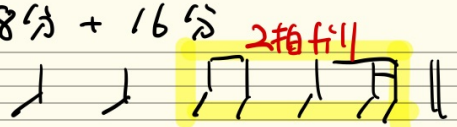
【盛り上げるためのfill 】

●2拍以上の長さのfillを入れると、この先盛り上がるという期待感を与えられる

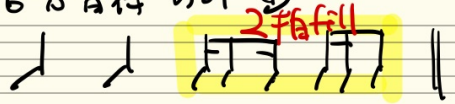
ex 1) 8分音符のみ



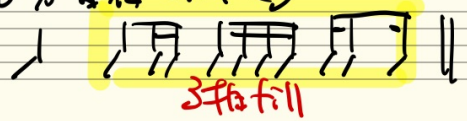
ex 2) 8分 + 16分

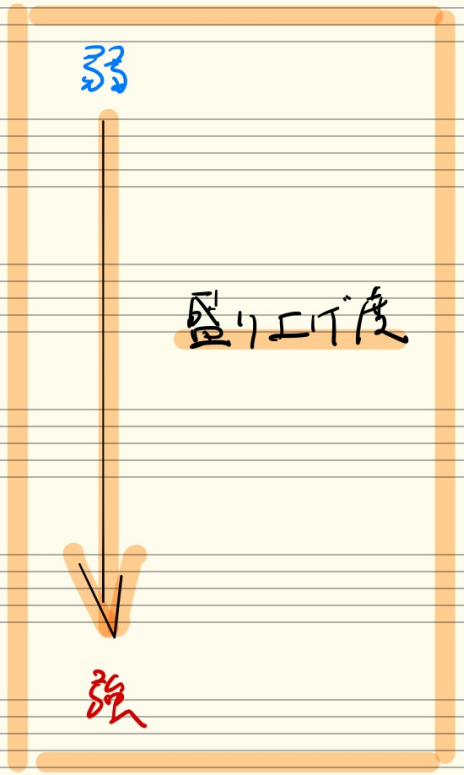


ex3) 16分音符 のみ ①



ex4) 16分音符 のみ ②





2拍以上の fill の場合
だんだん数が増えるように
すると バランスが良くなる。

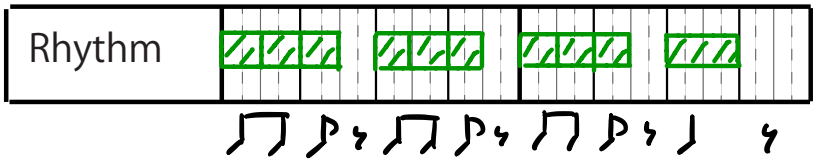
キメとは?

- リズムに変化を与えるリズムアレンジの手法
  - 単調さを避ける
  - 誰にでも盛り上がったと伝わるのは「楽器パート(使用トラック数)の増減」ではなく、「リズムの変化」なので、現代のポップスにおいて、曲中にキメはある
- キメに従って4リズムも演奏を変化させることが多い
- ドラムの場合、キメの箇所に「クラッシュシンバル+キック」を入れ、キメとキメの隙間をフィルで埋める

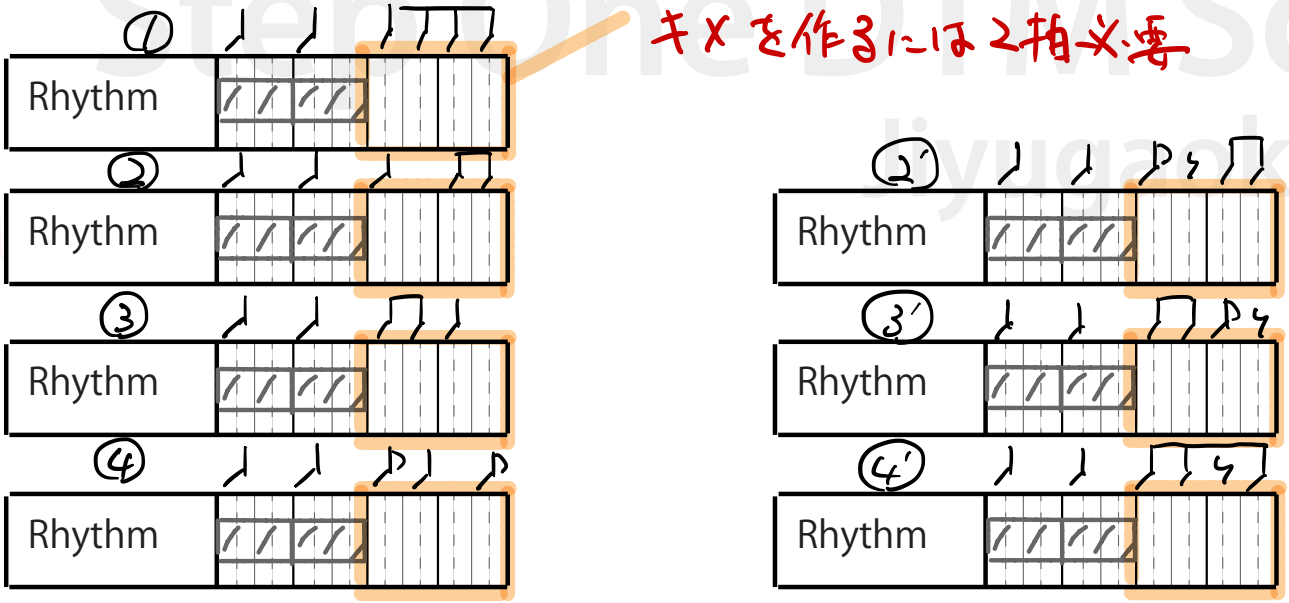
Step One DTM School
Jiyugaoka Tokyo
Step One DTM

- キメについて -

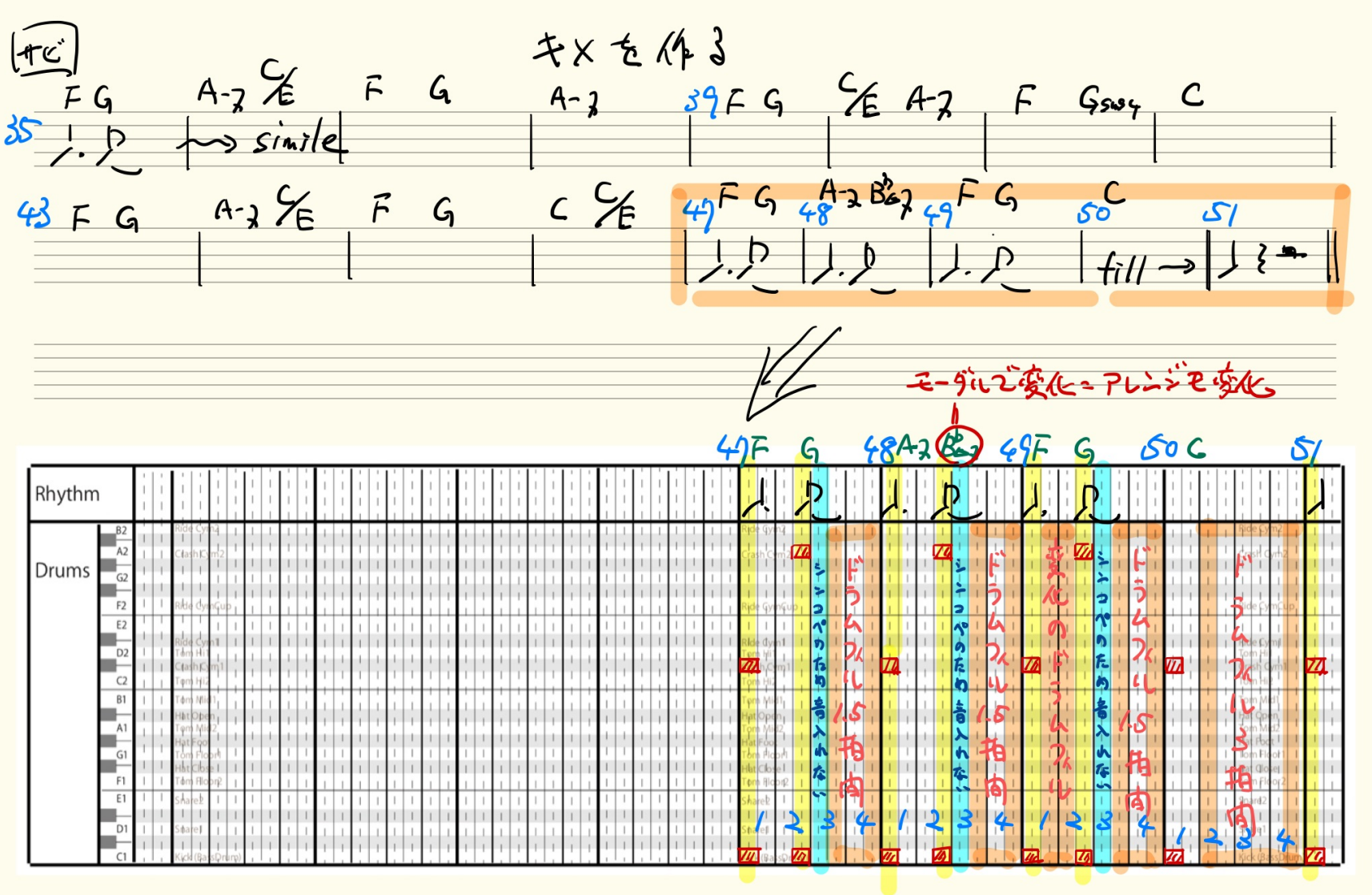
●お馴染み「3 本〆め」のリズムをピアノロールで作ると ...



●8 分音符で構成されるリズムパターンを把握しておく



StepOne DTM School
Jiyugaoka Tokyo
StepOne DTM



4回繰り返すコード進行の4回目にキメとフィルで変化を与える

ベースについて

Step One DTM School
Jiyugaoka Tokyo
Step One DTM